

# 事業者間ローミングの試験環境提供

事業者間ローミング検討作業班  
端末検討WG

2024/2/16



# はじめに

非常時における事業者間ローミング等に関する検討会  
第2次報告書より抜粋

## 2-5 相互接続性を確認する試験環境の在り方

- 電気通信設備と携帯端末の相互接続性を確保するためには、携帯端末の技術基準適合性に関する試験を業界横断的に実施できるようにする必要がある。
- このため、携帯端末ベンダー等が携帯端末の試験を効率的に実施できるようにするため、今年度中に専門の検討グループ又は拡大分科会を開催することにより、携帯電話事業者、端末ベンダー、チップベンダー、登録認定機関、測定器メーカーの関係企業・団体が両方式に対応する試験項目や試験環境の構築の在り方を検討すべきである。

11



**本ドキュメントにおいて、試験環境の構築の在り方、  
商用局の活用など報告する**

# [再掲]技術基準適合性確認と相互接続性担保の考え方(案)

## □ 技術基準適合性確認

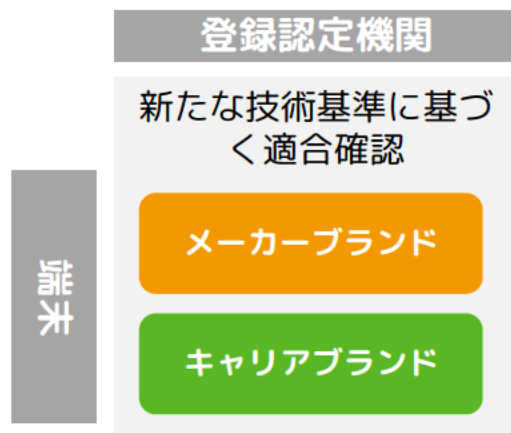
- 事業者間Rm新規開発端末の追加機能要件の機能確認試験 (シミュレータ)

## □ 相互接続性確認

- 事業者間Rm新規開発端末の追加機能要件以外の接続性試験 (商用+シミュレータ)

### 技術基準適合性確認@登録認証機関

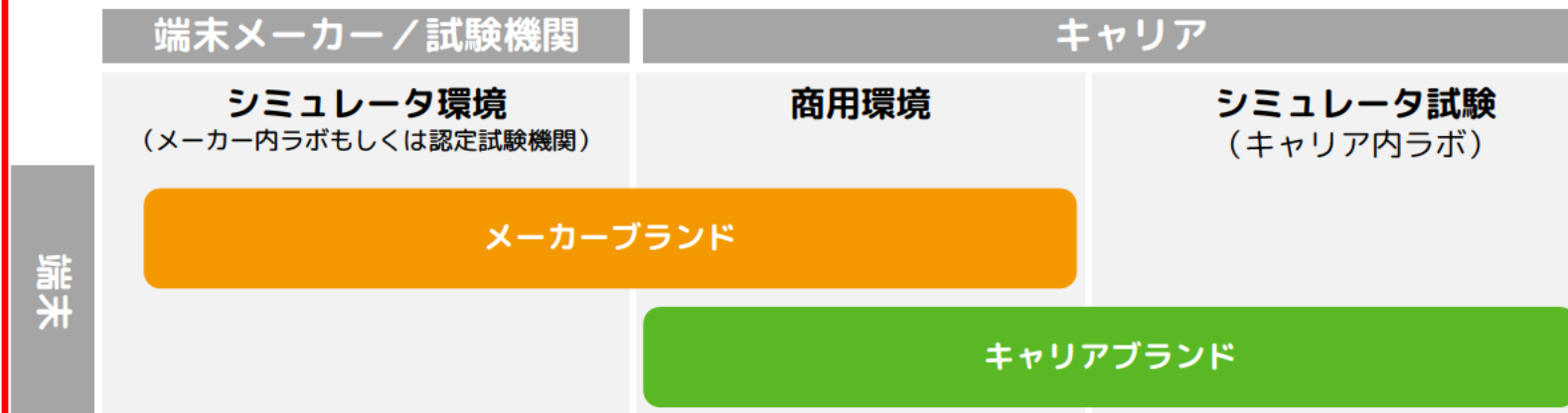
端末設備等規則の見直しを踏まえて、今後発売の端末は技術基準への適合性の確認を登録認定機関にて実施する想定(案)



登録認定機関で実施される  
技術基準への適合性を確認するための試験項目  
(=実施必須項目)  
となることを想定

### 相互接続性確認@事業者/端末メーカー

相互接続性確認項目は、端末提供者(端末メーカー/キャリア)にて実施する想定(案)  
手法1(メイン)：商用環境を用いた相互接続性確認実施が可能となるよう制度整備  
手法2(補助)：商用環境で実施出来ない試験のみシミュレータ試験で補う  
※ノンキャリアでも試験出来る環境の準備が必要



端末提供者側で試験実施できるように試験環境が提供され  
端末提供者側での試験実施が推奨される試験項目(=実施推奨項目)  
となることを想定

# 事業者間ローミングの試験環境提供(案)

- 試験環境の構築が困難なメーカーブランド端末においても各キャリアで連携し、試験環境を提供
- 相互接続性確認の試験環境整備
  - 商用環境: 平常時でもローミング試験可能なUIMを各キャリアで用意, キャリアを手動選択することで, ローミング試験を実施
  - シミュレータ: 試験シナリオを用意, 商用環境で実施困難な試験項目(自動選択, Home網への復帰など)を実施
- 今後の進め方は拡大分科会にて試験環境の方向性を確認し, 詳細(シナリオ作成など)は別途議論

## 事業者間ローミングの試験環境

	技術基準適合性確認	相互接続性確認	
試験環境	シミュレータ	商用環境	シミュレータ (商用環境で試験困難な項目)
試験実施者	登録認定機関	端末メーカー	端末メーカー
試験環境提供者 提供形態(想定)	測定器ベンダ ・測定器ベンダがシナリオ開発 ・端末メーカーがシナリオ購入し 事前試験も可能	キャリア ・キャリアがUIMを端末メーカー に貸出(平常時でもローミング試 験可能なUIMを用意) ・試験エリアは限定しない予定 (試験項目に依存してエリアが限定される場合あり)	測定器ベンダ ・測定器ベンダがシナリオ開発 ・端末メーカーでシナリオ購入し 試験実施
試験項目	第一回 拡大分科会にて 必須項目案を提示済	第一回 拡大分科会にて推奨項目案を提示済	